第6回 C言語講座

1. ファイル操作について

C 言語では外部ファイルを読み書きすることが出来ます。 まずは、新規作成し書き込んでみましょう。 以下のようにするとファイルが存在しない場合、新規作成してくれますよ。

```
#include<stdio.h>
#include<stdlib.h>
   FILE *fp;
    char string[ 256 ];
   char inputString[ 256 ];
    if( ( fp = fopen( "testtext.txt" , "a+" ) ) == NULL )
        printf( "file can't open\n" );
       exit( EXIT_FAILURE );
    rewind( fp );
    printf( "現在、書き込まれている文字列\n" );
    while( ( check = fscanf( fp , "%s" , string ) ) != EOF )
       printf( "%s\n" , string );
    printf( "追加したい文字列を入力してください¥n" );
    scanf( "%s" , inputString );
    fprintf( fp , "%s\n" , inputString );
    fclose(fp);
    return 0;
}
```

次に、テキストファイルを読み込み専用で読み込んでみましょう。 ファイルはメインの書かれている cpp ファイルのあるフォルダに置いてくださいな。

```
#include<stdio.h>
#include<stdlib.h>
int main()
{
    FILE *fp;
   char string[ 256 ];
char inputString[ 256 ];
    if( ( fp = fopen( "testtext.txt" , "r" ) ) == NULL )
        printf( "file can't open\n" );
        exit( EXIT_FAILURE );
    printf( "現在、書き込まれている文字列\n" );
    int check;
    while( ( check = fscanf( fp , "%s" , string ) ) != EOF )
        printf( "%s\n" , string );
    fclose(fp);
    return 0;
}
```

こんなふうにして、外部に情報を保存することが出来ます。 文字列か数字かは、fscanfを使うときに指定してあげればお k。 ゲームのデータ保存とかに使えるね。

オマケ

fopen 時の指定モードについて。

以下の6つが存在します。

"r":読み込み専用(ファイルが無いとエラー)

"w":書き込み専用(ファイルが無い場合は新規作成。上書きされる)

"a": 追加書き込み(ファイルが無い場合は新規作成。 書き込み時は最後に追加)

"r+": 読み込みと書き込み (ファイルが無いとエラー)

"W+":書き込みと読み込み(ファイルが無いと新規作成。上書きされる)

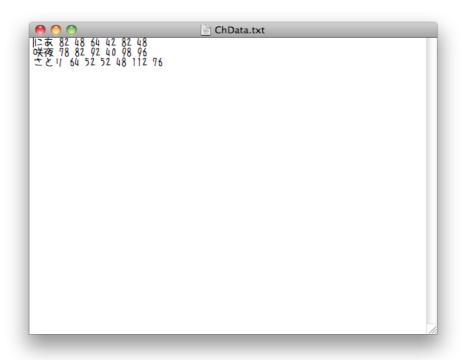
"a+": 読み込みと追加書き込み(ファイルが無いと新規作成。書き込み時は最後に追加)

また、"wb"のように指定してやるとバイナリモードになります。

2. ファイルの読み込みに関して

以下のサンプルのように読み込むことが出来ます。

.csv ファイルなどは、半角区切りや","区切りなどがあるので便利ですよ? サンプルがあまりにも残念ですが、一応……。 サンプル



*上のサンプルコードの変なところの改行は、ただ単に横に長過ぎたので改行しただけです。 改行しなくていいのよ。